

0940 | 日本画Ⅰ

4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

重政啓治教授、尾長良範教授、神彌佐子講師、東俊行講師、星見講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

日本画を描く上で必要な初歩としての基礎知識、素材と道具の種類、名称、扱い方を学び、日本画独自の材料である岩絵具、和紙、墨、筆、膠等に親しむ。

通信授業では、制作に必要なデッサンとして、モチーフの見方、観察の仕方、制作のためのデッサン法を学ぶ。面接授業では、日本画制作に取り組むことで、墨による骨描き、たらし込み、彫り塗り等の基本として日本画の表現法を学び、制作に必要な使用法を習得、準備から完成までを体験することで、制作手順及び素材の扱い方を知る。

課題の概要

○通信授業課題 1「デッサン」

- モチーフを良く見て観察し、画用紙に日本画を描くために必要な資料としての鉛筆デッサンをする。
- ・5種類の花をモチーフに部分的、クロッキー的、記録的な要素をふまえたデッサンをする。
- ・花をモチーフに、細密描写をする。
- ・季節の野菜や果物をデッサンする。

○通信授業課題 2「筆の使い方」

- 筆の使い方、特性を知ることが目的に日本画筆を用いてデッサンをする。
- ・筆を用いて黒で描く。
- ・筆を用いて彩色する。

○面接授業課題「日本画を描く」

- ・与えられたモチーフをもとに日本画絵具を使い、F15号以上の画面に紙本彩色を通して、用具の扱い方及び制作するための基礎となる準備から完成までの工程を行う。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『日本画Ⅰ・Ⅱ 平成 29 年度』の「日本画Ⅰ」、教科書『日本画・表現と技法』の「花を描く」をもとにした授業。

[面接授業]

第 1 日	午前：前提講義及び用具説明	午後：制作（デッサン）
第 2 日	午前：制作	午後：制作（大下図）
第 3 日	午前：制作（骨描き）	午後：制作（下地）
第 4～5 日	午前：制作（彩色）	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1 年次

[履修条件] なし

[備 考] 油絵学科日本画コース指定科目。

日本画コース進学希望者は、1 年次に履修すること（2 年次編入学生は 2 年次）。日本画コース 3 年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。
スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：『日本画 表現と技法』（武蔵野美術大学出版社 2002 年）

『現代日本画の発想』（武蔵野美術大学出版社 2004 年）

学習指導書：『日本画Ⅰ・Ⅱ 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）